

社会・文化・教育



キーワード：家族、福祉、医療

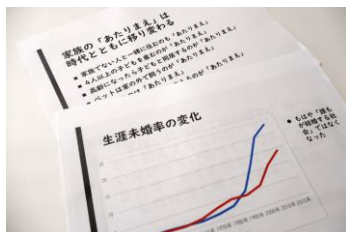
家族をめぐる困りごとと社会的支援

現代社会学部 現代社会学科 准教授
大日 義晴 DAINICHI Yoshiharu

研究の内容

家族は、子育て、病気への対応、暮らしの中の困りごとの相談など、私たちの生活を支える大切な存在です。一方で、家族だけに支える役割が集中すると、家族自身が大きな負担を抱えることもあります。私の研究では、家族がどのように人を支え、またどのような困難を経験しているのかを、アンケート調査や聞き取り調査を通じて明らかにしています。

これまで、結婚や配偶者からのサポートと心の健康の関係、食物アレルギーの子どもを育てる家族の経験、養育里親と子ども・実親との関係、生活保護制度を利用する人が経験する偏見や不安などを研究してきました。当事者や家族の声を丁寧に集め、見えにくい経験や困りごとをわかりやすく整理することを大切にしています。こうした研究を通じて、家族への理解を深め、支援のあり方を考えるための手がかりを示すことを目指しています。



産学連携・社会連携へのアピールポイント

子育て、福祉、医療、暮らしの困りごとについて、当事者や支援者の声を聞き取り、必要な支援や課題をわかりやすく整理します。自治体、支援団体、医療・教育の現場と連携し、調査や報告書作成、研修・講演などを通じて、誰もが安心して暮らせる地域づくりに貢献します。

大日研究室

URL : https://gyoseki.setsunan.ac.jp/html/200000909_ja.html

